

2014年

5

月号

組合会報

〈発行所〉

埼玉県鍍金工業組合

〒331-0811

さいたま市北区吉野町 2-222-7

TEL 048 (666) 2184

FAX 048 (652) 7631

〈発行人・理事長〉

小林 満

〈編集人・総務委員長〉

井上 宣雄

—今月号の主な内容—

平成26年埼玉県鍍金工業組合賀詞交歓会 ……2	埼玉鍍金会新春賀詞交歓会 ……9
平成26年全鍍連賀詞交歓会 ……4	第2回鍍金業界「未来を担う若手の集い」 ……11
第56回埼玉県めっき技術競技会 ……5	平成26年度中小企業・
彩の国ビジネスアリーナ2014 ……8	小規模事業者向け融資制度 ……12



149号



平成26年 埼玉県鍍金工業組合賀詞交歓会開催



埼玉県鍍金工業組合は、平成26年1月22日(水)午後5時よりパレスホテル大宮(さいたま市)にて、平成26年賀詞交歓会を多数の来賓、会員の出席のなか開催した。

はじめに、井上宣雄総務委員長司会のもと、黒澤久副理事長の「皆様、新年明けましておめでとうございます。皆様におかれましては

健やかに新年を迎えられたことと存じます。経済のほうは大変厳しいようで、アベノミクスの三本の矢、中小企業には全く実感がございません。春の消費税値上げも有りますが、本日は新年会で御座います。暗いことばかり考えても仕方がないので、今年が良い年になるよう存分にお酒を酌み交わしていただきたいと思えます。これより埼玉県鍍金工業組合賀詞交歓会を開催させていただきます。皆様宜しくお願いいたします。」との開会の辞の次に、小林 満理事長より新年の挨拶を頂き「皆様あけましておめでとうございます。黒澤副理事長からもお話しした通り、中小企業にはまだ光が届いていないという話でしたが、ようやく少し先行きが見えてきたのかなとそんな

な気がいたします。先ほど前官房長官の枝野様とお話させていただきましたが、大企業様のほうで賃上げという話がでておりまして、是非その利益を協力会社にも下ろしていただきたい。そうすればすぐに日本の景気が良くなるはずだというようなことをお話いたしました。枝野様にもその通りだと言っていただけだったのでなんとかその辺りをご尽力いただけると有り難いなど・・・ともあれ、今年一年間、大変素晴らしい年になりそうそんな予感を感じさせる幕開けとなりました。昨年の賀詞交歓会とは違い、どこへ行ってもなんとなく皆様のお顔がふくよかで、希望に満ちているというのが実感で御座います。今年一年間、平穩に、そして活力ある一年であ

ることを願うばかりでございます。本日、大変多くの方にご参集いただきました。また、お忙しい中多くのご来賓の皆様にもご来場いただきありがとうございますので、この賀詞交歓会の場で十分に情報交換していただき、今年一年の活力を得る場にしていただければ幸いです。最後にここにご参集の皆様のご一年間のご多幸とご発展をお祈りいたしました。理事長としての挨拶とさせていただきます。本日は有難う御座いました。」と述べた。

続いて来賓の祝辞を埼玉県知事上田清司氏代理の産業労働部部長 立川吉朗氏より知事祝辞を代読、次に衆議院議員元内閣官房長官 枝野幸男氏、衆議院議員 武正公一氏、さいたま市議会議員

阪本克己氏、参議院議員 西田実仁氏よりご挨拶頂き、その後、全国鍍金工業組合連合会会長 栗原敏郎氏より「ただいまご紹介いただきました」全国鍍金工業組合連合会会長の栗原と申します。昨年の5月の総会で伊藤前会長の後任としてご指名いただきました。埼玉県鍍金工業組合の皆様、2年間ひとつ宜しくお願い申し上げます。また、常日頃より全鍍連の事業運営にご支援ご協力を賜り誠に有難うございます。先程来より景気、経済の話が出ておりますが、本日前中経産省にご挨拶に行つて参りまして、その際にお話させていただきますのが、現在、大手メーカーが海外へ出て行く事例が多々あり国内の空洞化がますます進んできていて、海外に出て行く中小企業に関して是非常に手厚いサポートをしてくれる。でも、皆好き好んで海外に出たいわけではなくやは

り国内で十分な受注が無いと安心して仕事をやっていくことが出来ないというお話をさせて頂き、それと同時に韓国の現代自動車の話を出しまして、組合との話し合いで毎年400万台は韓国の国内で作るといふ協定を結んでいるとのこと、日本国内でもそういった縛りを設けることが必要なのではないか？且つ調達も国内でやっていただくという施策はとれないものかというようなお話をさせて頂きました。

それとは別なのですが、全鍍連では現在、消費税が5%から8%になり、実質3%の増税となる際、めつき業者が増税分の価格転嫁を取引先に確実にを行うための要望を公正取引委員会に出しております。

昨年11月27日に全鍍連として申請し、即日認可を受けましたので間もなく皆様のもとに全鍍連の名

入りで各お客様に対し消費税増税に際して値引きをすると違反になるとの内容の書面が届くはずです。この話をした際、「価格は取引先との相互の相談で決まるものだから、そんなことをしても下がるときは下がってしまう」という

ご意見も頂きそれをもつともだと思いましたが、以前3%の消費税がかけられた際全鍍連では今回同様の申請を行いカルテルを結びましたが、特に問題は起こらなかった。ところが5%となった際にカルテルを結ばなかったところ、値下げを迫られた例が多々あり、今回は「抑止力」として再びカルテルを結ぶこととしました。すこしでも皆様のお役に立つという前向きな考えでやっておりますので、是非ご活用いただければと思います。また全鍍連のホームページもリニューアルし、我々に関連するニュースが新聞に掲載された次の

日にはその記事がホームページに載るといふように皆様方に役立つ情報をどんどんスピードを上げ掲載していく所存です。

中国の「史記」の中に「驥尾(きび)に付す」という言葉があり、「驥」とは駿馬のことで、先頭に立つて行くものについていけば自然に良い方向に引っ張って行つてくれるという意味であります。今年は一ひとつ全鍍連が「驥」となつて皆様のご迷惑にならないよう走つて行きたいと思っておりますので、ご支援ご協力をお願い申し上げます。結びに皆様方の益々のご繁栄、ご健勝、ご多幸をご祈念申し上げます。本日はおめでとう御座いました。」と大変心強い祝辞を頂いた。その後、東京都鍍金工業組合副理事長 遠藤清孝氏の乾杯のご発声により歓談がスタートした。今年も昨年同様にジャズバンド



の生演奏と女性ボーカルの歌をBGMに場が盛り上がり和やかな雰囲気で行われ、中締めを仁科俊夫顧問事が「今年は一月一日に伊勢神宮に行ってお参りしてまいります。その足で東京の神社を色々見てまいりました。来月になりますと節分でございます。伏見稲荷に行かなければと思っております。これが一番良いのではありませんかと思っております。組合

の賀詞交歓会本日に今日は有難うございました。この組合のますますの発展と今日お越しの皆様方のご健康を祝しまして中締めの挨拶とさせていただきます」と3本で締めた後、閉会の辞を吉田幸司副理事長が「本日はお忙しいところまことに有難うございます。楽しい時間は早く過ぎてしまうということでもう終わりの時間となりました。冒頭お話がありました通り、今年が良い年となつて、来年皆様とお会いする際には今以上の笑顔でお会いできることを楽しみにしております。では、これをもちまして賀詞交歓会を終わりにさせていただきます。本日は有難うございました」と言う言葉で締め、26年度埼玉県鍍金工業組合賀詞交歓会が閉会した。

全鍍連

賀詞交歓会を開催



平成26年度新春賀詞交歓会が去る1月30日(木)16時より東京ガーデンプレイス3階「平安」で開催された。

島田総務委員長の司会・進行で八幡副会長の開会の辞で始まり、続いて主催者を代表して栗原会長が「本日はお忙しいところ多くの皆様のご臨席を賜り、厚く御礼を

申し上げます。あと2カ月で4月となり、いよいよ消費税が8%となります。全鍍連では、去る11月27日付で公正取引委員会に対し、転嫁カルテルの届け出を提出し、すでに受理されております。過去に消費税率が3%から5%に引き上げられた際、スムーズに転嫁できなかつたケースが相次ぎ、業界として手痛い経験を致しました。前回のこうした教訓を踏まえ、今回は関連省庁のご指導を頂きながら、転嫁カルテルPR周知に全力で取り組んでいるところです。また老朽化したためつき設備につきまして、更新がなかなか進まない状況ですが、経産省のサポートを頂きながら税制優遇制度等に積極的に対応して参りますので、どうぞ活用して頂きたいと思っております。本



年も皆様方のご支援をどうぞよろしくお願ひ申し上げます。」と挨拶を述べました。

続いて来賓祝辞、経済産業省製造産業局非鉄金属課の及川課長・全国中小企業団体中央会の高橋専務理事・日刊工業新聞社の松本業務局長・表面技術協会の里見会長から祝辞が述べられた。

続いて乾杯の発声を島村名誉顧問・石井名誉顧問・渡邊名誉顧問が壇上に入り島村名誉顧問の発声



で行われた。

しばらくの間懇親を深め新年を祝った。終盤に近づき大村常任顧問・鈴木常任顧問・姫野顧問理事・伊藤常任顧問が壇上に入り大村常任顧問が中締め挨拶を述べた後に伊藤常任顧問の発声により、三本締めを行い最後に長坂副会長の閉会の辞で閉会した。

平成25年度(第56回) 埼玉県めつき技術競技会 並びに排水管理優良事業所表彰式



平成26年1月29日(水)にブリラント武蔵野にて「平成25年度(第56回)埼玉県めつき技術競技会並びに排水管理優良事業所表彰式」が行われました。初めに小林理事長から「めつき技術競技会は56回という大変歴史のある競技会であります。その間埼玉県と共催という

ことで産業技術総合センター様には大変ご協力をいただいで続けております。今年は無電解ニッケルめつきが部門として加わり5部門となり大変多くの企業の皆様にご参加いただきました。今後多く企業の参加をよろしくお願ひします。」また排水優良事業所において「年々環境規制が強化される中で、毎年各企業の努力で排水処理技術も向上してきております。おそらくめつき業は今や環境の最先端を行く企業になってきたのではないか、この点は自負しているのではないかと思います。」と挨拶がありました。続いて埼玉県環境副部長 半田順春様、埼玉県産業技術総合センター長 牟田口照恭様、埼玉県中小企業団体中央会事

平成25年度(第56回)埼玉県めっき技術競技会審査結果

表彰区分	部門	装飾用クロムめっきの部	亜鉛めっきの部	工業用クロムめっきの部	バレル亜鉛めっきの部
埼玉県知事賞		高松電鍍工業(株)	(有)池澤鍍金工業所 菊池 貴之	川口ハードクロム工業(有)	押尾化学工業(有)
埼玉県産業労働部長賞		(有)小林鍍金工業	新田興業(株) 井上 和浩	吉野電化工業(株) 益子 修一	カツデン(株)
埼玉県産業技術総合センター長賞		(株)真工社	吉野電化工業(株) 小野 良輔、天海 裕紀	新硬クロム工業(株)	(有)小築鍍金工業所
埼玉県中小企業団体中央会長賞		小松原鍍金工場 小松原 秀元	押尾化学工業(有).	(株)ミドリ技研	(株)大倉
埼玉県鍍金工業組合理事長賞		(有)今井メッキ工業所	(株)サン化学	(株)精硬クロム工業 根岸 治	(株)小林鍍金工業
フジサンケイ ビジネスアイ賞		(有)渡辺鍍金工業所 渡辺 順一	(有)阪本鍍金	(株)オーク埼玉工場 近藤 大祐	
産業通信社賞		(有)坂寄鍍研精工	(有)小築鍍金工業所		

平成25年度(第56回)埼玉県めっき技術競技会審査結果【参考種目】無電解ニッケルめっき

表彰区分	受賞企業
埼玉県産業技術総合センター長賞	仁科工業(株) 井手 薫 さいたま市中央区下落合 1003
埼玉県中小企業団体中央会長賞	高松電鍍工業(株) 狭山市柏原 231
埼玉県鍍金工業組合理事長賞	(株)明光社 川口市南鳩ヶ谷 3-21-8
審査員特別賞(星野重夫賞)	(株)パーツ精工 越谷市大字増森 1544-14
審査員特別賞(山崎健次賞)	吉野電化工業(株) 天海 裕紀 越谷市越ヶ谷 5-1-19

平成25年度排水管理優良事業所
平成24年10月～平成25年9月
表彰事業所

埼玉県鍍金工業組合理事長表彰	受賞企業	連続年数	支部
	押尾化学工業(有)	5年連続	第3支部
〃	(有)二幸鍍金工業所	3年連続	第1支部
〃	(有)池澤鍍金工業所	3年連続	第5支部
〃	カツデン(株)	3年連続	第5支部
〃	(有)嶋田鍍金研究所	3年連続	第5支部

連続年数	支部	プレート授受事業所	連続年数	支部	プレート授受事業所
3年連続	第1支部	(株)サニー電化	1年	第5支部	松原金属工業(株)
2年連続	〃	新田興業(株)	16年連続	第6支部	(株)東工業
12年連続	第2支部	(株)島崎鍍金	4年連続	〃	仁科工業(株) B工場
8年連続	〃	(株)長沢製作所	1年	〃	仁科工業(株) A工場
13年連続	第3支部	栄電子工業(株)	1年	〃	仁科工業(株) C工場
1年	〃	(有)関東メッキ工業	1年	〃	大宮鍍金工業 本社
1年	〃	(有)石井鍍金工場	9年連続	第7支部	(株)精硬クロム工業 第2工場
1年	第4支部	東洋硬化クロム(株)	3年連続	〃	(有)共栄工業
30年連続	第5支部	(株)イシワタ	2年連続	〃	(株)明光社
13年連続	〃	双葉硬質クロム工業所	2年連続	〃	(有)坂寄鍍研精工
5年連続	〃	(有)植木硬質クロム工業所	1年	〃	羽鳥鍍研工業(株)
2年連続	〃	(株)安藤化成	1年	〃	ダイコウー
2年連続	〃	昭和ロール(株)	1年	〃	(有)小林鍍金工業

(7)



務局長 島村守様よりご挨拶がありました。

埼玉県めつき技術競技会表彰

今年、今までの4部門に加えて、無電解ニッケルめつき部門を新たに検討したところ、レギュレーション等意見を取り交わし、技術的に問題がないということで新たに参考種目として行われることになりました。表彰は、初めに例年のように4部門において厳正



な審査を経た受賞者が「埼玉県知事賞」から順次発表され、次に無電解ニッケルめつきの受賞者が発表されました。最後に審査員を代表して特級電気鍍金技能士 山崎健次様より講評として各部門の指摘事項を説明していただき、「この競技会は、技術の向上と研究の推進を図り、関連産業の発展に寄与することを目的として実施されており、全体的にレベルは上がってきたと思いますが、更なる

各企業の技術の向上をお願いしたいと思います。」とお話をいただきました。各賞の受賞者は別表をご覧ください。

排水管理優良事業所

5年連続での「埼玉県鍍金工業組合理事長表彰」に押尾化学工業有限会社が贈呈された後、各賞がそれぞれ発表され、平成25年度に排水優良事業所とされた事業所にプレートが授与されました。今年は残念ながら、埼玉県知事感謝状、埼玉県環境部長感謝状の対象事業所がありませんでしたが、次年度に期待したいところであります。各賞の受賞者は別表をご覧ください。

今回めつき技術競技会は、56回目となり大変長い歴史がある中で、新たに競技部門も加わりますます充実してきております。今後



めつき業界における各企業の技術向上のため、多くの企業に参加していただければと思います。また、排水管理におきましても、年々規制は強化されてきておりますが、排水処理技術向上に努め、より多くの企業が優良事業所として表彰されればと思います。

彩の国ビジネスアリーナ 2014

2014年1月25日・26日 さいたまスーパーアリーナ



本年度この展示会への出展も4回目となりました。今年は「のぼり」や「バナー」なども用意し盛大で他のエリアには無い程の一体感と盛り上がった2日間でした。今年度は新規出展や単独出展からこちらへ合流される企業さんなどで10ブースを使用し出展企業は19社と増え、昨年とはまた違った味付

けとなり各社の熱意が大変伝わってきていました。来場者の方々へのアピールなども盛んで皆さんの盛り上げ上手な感じが出ていて他のエリアに比較して、来場者が絶えない印象がありました。

今回は、初日8394名 2日目8176名 合計1万6570名の来場者があつたと公式に発表されました。来場者は、2013年合計1万6487名と比較すると横ばいの感じとなりますが、昨年はウーマノミクス展(我々のブース隣で女性の社会進出を応援するイベント)が共同開催されたこともあり、今回の純粹なビジネスアリーナへの来場者は(2012年合計1万5491名)確実に多かったです!と考えられます。それは対応された方々も実感として感じられたのではないで

しょうか?毎年、釣りのポイントを変えるごとく、展示場所を検討しております。今回の場所は中央部分で目立たないか?とも思いましたが、人の往来がとも多かつたように感じております。また、例年以上に皆さまの営業熱が増したのか?立ち止まってお話を聞いていただけるお客様が多かつたようにも感じております。

組合としての今回の総括・反省といたしましては

○来場者が多く、一体感のあるめっきエリアに多くの人が訪れた

○各出展企業様のこだわりのブースが全体を大いに盛り上げていただいた

○垂れ幕、のぼりなど、「めっき」という言葉をアピールできた

○ガイドブックが好評で、2日間で約360部が配布された

○例年のように準備・撤収に、多くのお手伝いをいただきました

●参加企業の決定に時間がかかってしまった

●昨年よりも、ブースの数を増やすことができなかった

●運営サイドとして、きめ細やかな



なお手伝いができていない部分があった

喜ぶべき部分も多くありました
が、同様に反省すべき点も多く見受けられました。また、来年に向けて準備とアイデア・仕掛けを検討して参りたいと感じております。まずは各企業様の参加が初めて初めて成り立つことでもありませんので、この記事に興味を持たれた企業様はぜひとも来年の展示会にご参加をお待ちしております。

出展企業(敬称略)全19社

(有)石田電解研磨工業所、(株)潮工業、(株)大倉、(株)甲斐野テックス、(株)小林鍍金工業、(株)サニー電化、(有)島田工業所、新硬クローム工業、(株)真工業、スリーケ、(株)精硬クローム工業、仁科工業、新田興業、日本ミクロ工業、(株)ミドリ技研、(株)明光社、(有)吉田商店、吉野電化工業(株)、(有)渡辺鍍金工業所

平成26年 埼玉鍍金工業組合新春賀詞交歓会



小林副会長の司会進行のもと、

先ずは渡辺会長よりご挨拶いただきました。

「日ごろから埼玉鍍金会の活動にご理解ご協力をいただきまことに有難う御座います。本日はお忙しい中、埼玉鍍金工業組合副理事長

黒澤久様をはじめ、前理事長

仁科俊夫様にご出席いただきまして誠に有難うございます。私の会長として任期は残りわずかでございます。

今日と三月例会で主だった事業は完了となります。これまで滞りなく各事業ができましたのも小林・響場両副会長をはじめ、役員の皆様方そして会員一人ひとりのご理解・ご支援の賜物だと思っております。6月の総会までは気を抜くことなく会長職を全うしたいと思しますので皆様変わらぬご支援宜しくお願いいたします。

埼玉鍍金工業組合青年部、埼玉鍍金は去る2月7日、さいたま市大宮区の割烹旅館新道山家にて新春賀詞交歓会を開催されました。

お忙しい中、多数の会員にご出席いただき、親組合である埼玉鍍金工業組合より黒澤副理事長、仁科顧問理事にご参加いただきました。

さて、一昨年政権が変わりました。

さて、一昨年から明るい話題も増えてきたように思います。アベノミクス効果で円高が是正され、株価も上昇し、デフレからの脱却の兆しが見える前向きなサイクルに入つた一年だったのではないかと思えます。東日本大震災の復興等、色々と課題は多いですが、東京オリンピックも決まり世の中の雰囲気閉塞感から期待感に変わったことを大分肌で感じるのではないのでしょうか？しかし、我々製造業の現場というのは電気料金・原材料の値上げに加え人件費もじわじわと上昇し、止めを刺すように消費税の増税と今なお厳しい戦いが続いていることと思えます。なんとか今年こそは世間並みに景気回復と行きたいところです。



さて、今年は午年で御座います。馬の視野というのは、350度あるようで真後ろを除きほぼ全てが見えるそうです。この馬のように広い視野を持って今年一年事業にまい進して頂きたいなと思いますが、しかし、視野が広いために、臆病な部分がすごくあるそうで、我々製造業に携わる者にとって、この長く続いた不景気で余計な心配をしたり、自信を無くしたり、臆病になったりということがあった

と思います。石橋を叩いて壊すが如く、心配が先に立ってチャレンジをすることを避けてきたところがあるのではないのでしょうか。「馬には乗ってみよ、人には添うてみよ」という諺があります。何事もやる前から思い悩むのではなく、まずはやってみようとする気持ちが大切なのではないと思います。失敗を恐れずにチャレンジする。我々青年部の特権ではないでしょうか？頑張れば夢は叶う、そう信じてこの一年を皆で励ましあい切磋琢磨をしながら覚悟を持って努力し変えていきましょう。来年の賀詞交歓会では是非今年よりも美味しいお酒を飲もうではありませんか、頑張りましょう！本日は短い時間ですが楽しい会にしたいと思います。最後にご参集の皆様が今年一年颯爽とかける馬の如く幸運が舞い込んできて更に上手くいくことをご祈念申し上げ、私の挨拶といたします。本日は宜しくお願

いいたします。」と一年の始まりにふさわしい、皆様を元氣付けるご挨拶を頂きました。続きまして、埼玉県鍍金工業組合黒澤副理事長よりご祝辞をいただき、「本日は2月7日ということですが、新年会ということで改めて明けておめでとう御座います。先日の親組合の新年会でもお話ししましたが、アベノミクスの実感は無いというのが正直なところでございます。色々な新年会に行きましたが、アベノミクスの話は聞き飽きて期待していないという声を良く聞きます。自分の始末は自分で付けられれば何をやっても良いのかなと思っている次第です。業界振り返ってみますと、まだまだ厳しい環境になってくるのではないかと思います。例えば上尾の商工会議所の調べでは平成元年工業系の会員は950社あったのですが、昨年は250社まで減ってしまったそうです。なんと3分の1以下になってしまったという

ことを聞いたときは世間の仕組みが変わってきているのだなということを実感しました。しかし我々は生き残っていかねばならぬのでやはり初心に戻って無駄を省く、経費を抑えるといったことをやるべきなのではないかと思

組みが変わってきているのだなということを実感しました。しかし我々は生き残っていかねばならぬのでやはり初心に戻って無駄を省く、経費を抑えるといったことをやるべきなのではないかと思

す。何はともあれ今年一年埼玉鍍金にとつて良く遊びよく遊びたまに勉強と、親組合の皆様にもご理解いただき、存分にご活躍いただければと思います。渡辺会長は任期満了間近のことですが、次期会長も決まっておるようですので、申し送り事項として、是非海外研修を行っていただきたいと思

す。一人二人ではなかなか見ることが適わないものを是非埼玉鍍金という立場を利用して企画していただきたいなと思います。今年も積極的に参加していきたいと思

すのでぜひ宜しくお願

いいたします。」と埼玉鍍金の大家として貴重

なご意見を頂きました。

続いて仁科顧問理事に乾杯の音頭を取っていただき「先日久しぶ

りにキャンノン電子の酒巻さんの話を聞いたが、キャンノンの中で横串をさせるのは私の特徴だと言っておられた。まさにその通りで、経営者として心がけてはいるがまさにこの埼玉県が「横串」の原点かと思えます。この会の各企業様も色々な特徴をお持ちだが、交互に横串を通していただければもっと素晴らしい会になると思います。今年も色々とお楽しみにしておりますので是非宜しくお願いします」とご提言いただき乾杯のご発声をしていただきました。

本年も、昨年に引き続き、ビンゴ大会を開催し、昨年以上の盛り上がりもあり、活況のうちに二時間が瞬く間に過ぎ、新硬クローム工業(株)新谷氏の締めで無事閉会となり、今回も会員相互の有意義な交流とすることができました。

改めまして、ご参加いただきました皆様方の益々のご健勝・ご発展を祈念申し上げます。

第二回鍍金業界『未来を担う若手の集い』



3月14日 18時より、今回で二回目となる鍍金業界「未来を担う若手の集い」が横浜崎陽軒本店にて盛大に開催されました。参加者は全国から集まった業界の若手経営者・後継者約60名、うち埼玉県参加者は14名と全国最大規模のグループとして参加いたしました。

今回主催者となる神奈川県メッ

キ工業組合青年部会長 大村和司氏より開会のご挨拶をいただいた後、ご来賓の全鍍連会長であり、神奈川県メッキ工業組合理事長 栗原敏郎氏よりご挨拶いただきました。その後、全鍍連副会長 神谷篤様より乾杯のご挨拶を頂いた後、場所柄が若手代表によるケキカットならぬシウマイカットが行われ、非常に賑やかな雰囲気になり、その後は若者同士の活発な情報交換・懇談の場となりました。

全国の鍍金業者のモデルケースとなる可能性もあり、全鍍連としても注視されているようです。今後とも組合員一同、活発に情報交換し力を合わせて対応する必要がありと強く感じました。

会中の組合紹介に於いては、各組合様毎に特色ある活動紹介が行われましたが、中でも埼玉県は全国でも有数の活気ある青年部会に相応しく非常に若者らしく、元気のよい紹介が行われ会場中の注目を集めておりました。

まずは名刺交換に始まりテーブルを移動しながら積極的に交流が行われ、各県の様々な業態のめっき業者様の近況を伺うことができ、景気動向の話題はもちろん、特に業界関係者として改正水質汚濁防止法についての話題が盛んでした。

アベノミクスの効果も未だ我々の業界には遠く及ばず、得意先様

埼玉県ほど行政が動きだしている県は無いようで当組合の対応が

に次年度の動向を伺っても「まだ



はつきりしない」「良くなるのは下期からかな？」等先行き不透明な回答が返ってくるのが殆どで、やっとなと薄日が差しはじめたといったところですが、「日本の力めっきの力」というスローガンの通り、この場に集まった若手が世界最高峰の表面処理技術集団としての自信と誇りを持ち、熱意と行動力をもって日々研鑽することにより、必ずやめっき業界にとってより良い未来が訪れるものと確信しております。

『平成26年度補正予算成立に伴う中小企業・小規模事業者向け融資制度の拡充』

日本政策金融公庫(日本公庫)は、平成25年度補正予算案成立に伴い、中小企業・小規模事業者の皆様への支援を強化するため、融資制度を拡充し、2月24日より取扱いを開始致しました。

主な制度拡充内容は

- ①設備資金貸付利率特例制度(設備新陳代謝関連の拡充)
老朽化した施設の新陳代謝を促進するため、一定規模(総資産の15%超)の施設投資を行い、事業計画書を公庫に提出した場合に、融資後2年間、適用した融資制度に定める利率から0.5%引き下げ
- ②企業活力強化貸付(地域活性化・雇用促進)の拡充
雇用者に対する給与等の支払額を増加(前年比2%以上)させており、今後とも増加させる見込

みの方を対象に、基準金利0.4%引き下げ

- ③創業・新規事業支援関連制度の拡充

創業・創業後2期末満の方に対する無担保・無保証の融資制度

- ④経営支援型セーフティネット貸付(金融環境変化対応資金)の拡充

金融機関との取引状況の変化により、資金繰りに困難をきたしている、認定支援機関や日本公庫の経営支援を受ける方を対象に基準利率から0.4%金利引き下げ。

設備資金及び運転資金・設備資金15年以内・運転資金8年以内
雇用維持・拡充を図る場合、基準金利0.1%引き下げ
両方ともに該当する場合、基準金利0.5%引き下げ

融資制度にご興味のある方は、日本政策金融公庫ホームページ
<https://www.jfc.go.jp/index.html>
をご確認ください。

編集後記

表紙の写真は、埼玉県産業技術総合センター(通称SAITEC)で、県内の中小企業を技術面で支援する県立試験研究機関です。

鋳物及び金属材料の試験・評価、機械加工、成形加工、金属等の化学分析、電波暗室関連の測定や電子技術などの技術分野について、相談や試験研究などを行っています。

なお、埼玉県めっき技術競技会の審査もここで行われています。

川口市上青木3・12・18

印刷
保証企画工業株式会社
〒110-0012
東京都台東区竜泉1-4-13
TEL03(3875)1641